

2012～2013年度
東日本区理事方針

2012～2013年度東日本区理事 駒田 勝彦

理事主題 創造 多様性を生かしてイノベーション

Creative Innovation in Diversified Society.

副題 “恵みを愛もて分かち合おう” “Share your blessings in love”

<理事方針>

私たちの地球には様々な生物が存在します。同じ種類でも人が個性を持つように、種の中でも多様性があります。さらに環境条件により地域ごとの生態系を作っています。このような個（遺伝子）の多様性、種の多様性、生態系の多様性のレベルにある生物多様性の中にあります。すなわち個としてだけでは存在できないそれぞれのつながりを持っています。絶滅危惧種は保存策を取らねばなりません。それは自ら生きるために進化するか、態様を変えていくかいくつかの方法が考えられるでしょう。

私たちY‘Sで考えれば、個は各クラブ、種は各部、そして生態系は東西日本区にあたるでしょう。各クラブにおいても多種多様な特色、意義を持っています。部も同様です。そのような素晴らしいそれぞれの個性を生かし、行動してお互いの刺激となり創造を生み出し、イノベーションによる明日への再生、ステップにつなげていける東日本区でありたい。

「体全体は、あらゆる節々が補い合うことによってしっかり組み合わされ、結び合わされて、おのおの部分は分にに応じて働いて体全体を成長させ、自ら愛によって造りあげられてゆくのです。」
エフェソ4:16

そのためには、各クラブ・各部の情報を皆が共有すること、そのクラブが地域においても、東日本区内に於いても情報を発信しましょう。情報を出すことは、自らを省みることにもなります。責任も持つこととなります。クラブが一つとなり意思を持つことです。

他からの情報がヒントになる場合もあるでしょう、自らの問題点を発信し協力を得ることもあるでしょう、共同体として苦をともにし、喜びを共にするそのような歩みをとおして東日本区の再生にして行きたいと思っています。

風を知ろう、**林**のようにともに建とう、**火**のように燃えよう、**山**の頂を目指そう。

今、取り組むべき大きな課題は、

①ワイズメンズクラブ東日本区の再生、元年

「東日本区の目的は、区内各クラブが国際憲法に基づき、互いに親しみ交わり、力を合わせ国際協会の綱領と目的を達成し、さらにこの運動を広く東日本区内に拡張するために協力することにある。」 定款第2条第1項

<この目的に向かって、心新たに力を合わせていきたいと思えます。>

②教訓を生かし、組織、手続等の再構築です。

イノベーション(改革)します

東日本区のイノベーションが必要です、組織のありかた、定款の見直し、今までこうだったから同じようにする。のではなく良いものは伸ばし、改善すべきところを新たな創造をもって進めたいと思えます。

*イノベーションには、それぞれの持ち味を生かす創造によって行われるものです。

③東日本大震災の復興支援への取組を続けていきます。

あれから1年、今後も息の長いご協力をしていきましょう。

2013年6月8日～9日に第16回 東日本区大会が、東北花巻温泉で行われます。

「忘れてたまるか 3.11 あの時の絆を」

Y'S お一人お一人の参加が復興支援につながります。共に参加しましょう。

<重点目標>

A 四事業の創造とつながり

① 情報の共有と連携と協働

各事業主任は、お互いの実施内容、計画等他の事業主任同士でお互い共有できるようにしましょう。そしてそのことを共有し協力するようにしましょう。事業を分かち合ひましょう。

② 部長さんとの協力、連携を進めましょう。そして東日本大震災復興支援を協働したいと思います。

③ 事業主任さん共通のテーマは、「イノベーション」としました。

山登りにはいくつかの道があります。その目指すものは何か、その目標をこれにしたいと思います。過去にとらわれない、新たな思いと創造をもって我々東日本区これからの10年、20年後を思いここに礎を置くつもりで協働したいと思います。

B クラブの創造とつながり

東日本大震災を忘れることなく、絆、つながりを持ちましょう。

① YMCAとのつながり

我々Y'Sの目的は、奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援することにあります。

互いの情報の共有、地域のYMCAとそれにつながるクラブの絆を深めましょう。

② 新しいパートナーを創ろう

今あるパートナーも新しくパートナーとつながりを持つ場合も、改めてイノベーションしましょう。それぞれのクラブが、改めて活性化することを期待します。

各クラブのことを知り、多様性を理解してそれぞれが刺激し合うことが必要と思います。

各部長さんは特に部内クラブに支援していただければと思います。

③ 地域奉仕

クラブの認知度は、その地域でのCS活動です、ますます活動ができるよう創造しましょう。

まだCS活動がないクラブには、どうか部長さん、地域奉仕事業主任さんのご指導、ご協力で始められますようお願いいたします。

④ 部の再編

2011年6月30日 東日本区アンケート調査報告があります。

この中で、部の再編に関する各クラブの意見が多数みられます。

数年前にも何度か問題提起がされてきています。アンケートを取りました、結果はこうでした。

それでは、アンケートの意味がありません。私、東日本区のイノベーション事業と思います。

⑤ IBC・DBC の締結、交流

C 国際事業 (世界の友とのつながり)

☞国際大会への参加・・・横浜国際大会へ多くの国地域から来ていただいた感謝と、東日本大震災に各国から援助を頂いたことへの気持ちを形にしましょう。

☞アジア地区への協力・・・アジア地区の理解と協力、日本の役割を覚えましょう。